

## 教室での過ごし方

当教室の支援には、「個別指導の時間」と「集団療育の時間」があります。

「個別指導の時間」では、大人の支援員と1対1で席に座って学習をします。支援員とのコミュニケーションを通じて、言葉の使い方、文章の読み方、四則演算、時計の読み方など、子どもたち個々の困りごとを解決していく時間になります。

「集団療育の時間」では、カードゲームやボードゲームをして、友達とのかかわり方を学んでいきます。

## 5つの領域の支援

学びの森個別支援室では、放課後等デイサービスガイドラインで示される5つの領域「①健康・生活」「②運動・感覚」「③認知・行動」「④言語・コミュニケーション」「⑤人間関係・社会性」について、それぞれ以下のことを考えて支援をしています。

- ① 健康・生活：健康状態の維持、基本的な生活スキルの獲得
- ② 運動・感覚：五感の能力の向上、道具の扱うスキルの向上
- ③ 認知・行動：認知の特性についての対処法、時間や空間の認知能力の向上
- ④ 言語・コミュニケーション：言語能力の向上、コミュニケーションの基礎能力の向上
- ⑤ 人間関係・社会性：実生活に必要な能力の獲得、人間関係の形成

本人やご家族の悩みごとを聞き、子どもたちにとって必要な力の伸ばし方を個々の特性に寄り添って具体的に考え、個別支援計画書を作成して支援をしています。個別支援計画書にはこれら5つの領域と支援方針の関係を明記しています。

### それぞれの領域と支援内容の例

- ① 健康・生活：あいさつ、定期的な来所、毎回の検温や体調の確認
- ② 運動・感覚：定規やコンパス等の道具の使い方、ブロック遊び、  
ビジョントレーニング
- ③ 認知・行動：時計の読み方、計算、今日やることの見通しを立てる  
「できた」「わかった」による自己肯定感の獲得
- ④ 言語・コミュニケーション：漢字や言葉の習得、支援員との会話、  
集団療育での友だちとのコミュニケーション
- ⑤ 人間関係・社会性：お金の計算、トランプ等の集団遊び、一人遊び など

## 家族支援・移行支援・地域支援について

当教室では、家族支援、移行支援、地域支援等について以下のように実施しています。

### 家族支援

- 半年に一度モニタリングで家族や学校での状況を聞き、助言を行っています。
- モニタリング以外でも、希望される場合には親との面談を実施します。
- 毎回の連絡帳やフィードバックで、家庭や学校での状況や悩み事について相談を受けています。

### 移行支援

- 将来の進路や希望に応じ、勉強以外でも必要なスキルを考え、支援をしています。
- 放課後児童クラブ等と併行利用している場合、必要に応じて併行利用先との連携を行っています。

### 地域支援

- 学校や医療機関等と、情報・支援方法・環境調整等に関する連携を行っています。